

## 全校朝会の話 1月15日(月)

先週、皆さんは書き初めを書いて、今、校内で書き初め展として、展示してあります。友達作品をじっくりと見てください。ただ触らないようにしてください。土曜日に保護者の方にも見てもらいました。集中してしっかりと書いた字が書けていたと思います。代表の方は練馬区立美術館に飾られますので、それも楽しみしておいてください。

書き初めについてお話します。書き初めは正月行事で、本来は1月2日に書きます。習い事は1月2日から始めると上達しやすいという言い伝えがあるそうです。書き初めには、「文字がきれいに書けるようになる」「一年の抱負を決める」などの意味があります。書き初めをした半紙は部屋の見える場所に飾っておき、1月中旬に「どんど焼き」(わら・竹で組んだやぐらと一緒に、門松やしめ縄などの正月飾りを燃やし、病気や災害がなく、家族の健康や安全を願う火祭り)で燃やす風習があります。どんど焼きの際に炎が高く立ち昇れば、書き初めに記した目標が叶うといわれています。

書き初めは平安時代(今から約1200年前)から始まったといわれています。そして江戸時代(今から約400年前)に『書くこと』と『そろばん』が重要視されていたために家で書き初めをする人が増えたそうです。

私の頃は今のように墨汁から書いていたのではなく、水を墨ですずりをこすって墨汁を作ってから書いていました。それに時間がかかってしまった思い出があります。

みなさんの書き初めをじっくりと見させてもらいます。よく頑張りました。